

若松原中学校地域協議会

地域学校園を越えた連携事例「そば打ち教室」の出前講座

- 若松原中学校地域協議会の「食で交流部会」による「そば打ち教室」が、雀宮中央小学校の親子を対象に開催されました。
- 若松原地域学校園で行っているこの「そば打ち」は、20年以上前から続く地域に定着した活動です。今回は、雀宮中央小学校から依頼があり、学校園を飛び出し、雀宮中央小学校での出前講座が実現しました。
- そば打ちが趣味である「食で交流部会」の部会長を中心に、「捏ねる・伸ばす・切る」について、実演を交えながら説明し、各参加者のそば打ちをサポートしていきます。
- 「捏ねる・伸ばす」だけでなく、包丁を使う「切る」まで、親子一緒に安全に行い、美味しいそばを作ることが出来ました。
- 活動後は、みんなで片づけまで行い、親子での充実した活動となり、また、出来上がったそばは、各自が持ち帰り、それぞれの家庭の食卓へ並ぶことで家庭での話題にもなりました。



若松原中会長挨拶



部会長が捏ね方を説明



親子で「切る」



親子で「伸ばす」



親子で「捏ねる」

【学校の声】

雀宮中央小は、若松原地域学校園には入っていませんが、雀宮中央小から本校に進学してくる児童も多数います。自分が進学する中学校区の大人と交流することは、中学校生活を円滑に始めるためにも重要なことです。

また、「そば打ち」で作ったそばを家庭で食べることは、家族内のコミュニケーションにも繋がるので、是非、家族みんなで食べてもらいたいです。

【地域協議会の声】

日本伝統の食文化である「そば打ち」を通して、地域の交流を活発にし、子どもと大人の顔を繋げたいです。地域の大人と子どもの顔が繋がれば非行の防止にも繋がると思います。

また、「そば打ち」の講師役が年配の方が多いので、若い世代の方にも引き継いで、今後も若松原地区での「そば打ち」を続けていきたいです。

【いいね!】

○ 雀宮中央小学校地域協議会の「家庭地域活動部」が、若松原中学校地域協議会に依頼し、出前講座の実施に繋がった。地域学校園内に留まらず、近隣の学校と連携した好事例である。

○ そば打ちを継続可能なものとするため、年に数回、若手世代を対象に、そば打ちの講師養成を目的とした講座を実施している。

